～ 社会福祉法人和幸園　行動計画 ～

掲載日：令和７年３月３１日

計画期間：令和７年４月１日～令和１２年３月３１日までの５年間

■女性活躍推進法に基づく行動計画

当法人は、家庭・育児と仕事の両立を支援しております。
出産・育児に関わる女性職員の多くが「育児休業制度」や「産前・産後休暇」などを利用しており、継続して勤務できる環境が整っています。

その取り組みを更に進めるために、女性活躍推進法に基づく行動計画を策定し、女性の活躍を推進していきます。

１．当法人の現状

〇令和5年度に採用した職員（非常勤職員を除く）のうち女性労働者が占める割合は**64.7％**と半数以上が女性職員雇用をしめており、率先して女性雇用を行っている。

〇職員（非常勤職員を除く）の平均勤続年数は、男性**11.6年**、女性**12.5年**であり、男女の平均継続勤務年数の差異は**107.7%**である。（令和５年３月３１日時点）
令和３年度時点より女性の平均年数が4.1年もあがっており、
男性より平均年数を越している状態である。
このまま保てるよう法人内で努力を続ける。

〇管理職に占める女性の割合は**55.1％**であり、産業分類平均（令和５年３月３１日付け適用分）**44.2％**を上回っている。

２．当法人の課題

〇仕事と家庭を両立しながらキャリア形成を重ねるイメージを持てるようにする必要がある。

３．目標・行動計画

目標①　労働者の各月毎の平均残業時間数を一人あたり1時間未満にする。

※令和5年度…1.3時間

＜取組内容＞

●2025年4月～　時間外労働の原因の分析等を行う。
（事務所内、各施設や部門毎に）

●2025年10月～ 分析結果を元に話し合いを行う。
（事務所内、各施設や部門毎に）

●2026年3月～　話し合いの結果を情報交換、周知を行う。
各施設や部門毎における問題点の検討を行う。

●2026年10月～ 管理職を対象とした意識改革を進める。

●2027年3月～　管理職を中心に現場への周知を行う。

３．目標・行動計画

目標②　有給休暇取得日数を1人あたり平均年12.5日以上にする。

※令和5年度…12.3日

＜取組内容＞

●2025年4月～　年次有給休暇の計画的付与を行う。

●2025年10月～ 有給休暇の取得状況を周知。（今後定期的に）
管理職から休暇取得を促す。（今後定期的に）

目標③　男性労働者の「育児休業取得率」を1%以上あげる

※令和5年度…０％

〈取組内容〉

●2025年4月～　お子さんが生まれた男性職員の方へ面談や書面でのお知らせ等する

目標④　男性労働者の「育児休業及び育児目的休暇の取得率」を１％以上あげる

※令和5年度…０％

〈取組内容〉

●2025年4月～　お子さんが生まれた男性職員の方へ面談や書面でのお知らせ等する

目標⑤　フルタイム労働者１日人当たりの各月毎の法定時間外労働及び法定休日労働の合計時間数等の労働時間をこのまま０時間のまま保つ

※令和5年度…０時間

〈取組内容〉

●2025年4月～　会議等で今後も法定休での勤務等ないよう
シフト調整や勤務内容を考えてもらえるよう働きかける

■次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画

当法人は、職員が能力を十分に発揮できるように、仕事と生活の調和を図り、働きやすい雇用環境の整備を行うため、次世代育成支援対策推進法に基づき、次の一般事業主行動計画を作成しています。

１.内容

目標①　育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備を行う。

＜対策＞

●2025年4月～　就業規則（育児休業に関する規程）の周知をする。
諸制度の周知や情報提供を行う。

目標②　フレックスタイム制度の緩和化を行う。

＜対策＞

●2025年4月～　年２回の個人面談の際、個々の状況により上記制度の説明を行う。
それにともなって希望を聞き取り、検討に努める。

目標③　事業所内保育施設の周知を行う。

＜対策＞

●2025年4月～　求人を出す際や新採用を行う際、法人内に保育施設が2カ所あることや特徴等を説明する。
年２回の個人面談の際、個々の状況により上記制度の説明を行う。
各施設や部門毎のトップが部下の家庭状況をおおまかに把握し、
状況により上記制度の説明をし、個々の悩み減少に繋げる。

■男性の育児休業取得率の公表（R5年度）

①育児休業等の取得割合

$$\frac{\text{育児休業等をした男性労働者の数}}{\text{配偶者が出産した男性労働者の数}} = \frac{0}{0} = 0$$

②育児休業等と育児目的休暇の取得割合

$$\frac{\text{育児休業をした男性労働者の数} + \text{小学校就学前の子の育児を目的とした休暇制度を利用した男性労働者の数}}{\text{配偶者が出産した男性労働者の数}} = \frac{0 + 1}{0} = 0$$